



7月の園だより

令和6年7月1日
目黒区立菅刈保育園長

先日職員の園内研修を行いました。「子どもが満足して遊ぶとは」というテーマで“カブラ”“砂場”“ドッチボール”に分かれ職員が遊ぶことになりました。最初から闘志を燃やしているドッチボール組。途中チーム替えをしたり、作戦会議をしたりして、負けた時には本気で「悔しい」という声が聞こえてきます。カブラ組は黙々と一人で作る人、大きな大作を協力し合い、考えながら作り続ける人と様々です。砂場組は穴を掘り始めたら「固くてなかなか掘れない。こんなに掘るって大変なんだ」という事に気が付き、急遽山作りに変更しました。「自分はここ掘るね」等手分けして山、川、トンネルを作りましたが、時間切れでトンネルを繋げることが出来ず、「もっとやりたかった」という声が聞かれました。最後には“作ったものをもって明日の子どもたちの反応を見たい”ということになりました。次の日、砂場一番乗りはひまわり組「わー」と大きい山にびっくりしながらも早速ジョーロを見つけて水を汲みに行き、流し始めました。一人の子がやると私もというように他の子ども真似てせっせと運んでいます。保育士はすぐ壊すかなと思っていたのですが“壊しちゃいけない”と感じているのが伝わりました。ホール一番乗りはきりん組。大きな制作の“きりん”を見つけると「すごい」「作りたい」と作り始めました。一人一人が自分の思いを形にしていくことに真剣に取り組む姿が印象的でした。研修を通して先生たちの「楽しい」という気持ちが共有でき、笑顔が沢山見られたこと。そして真剣に遊ぶことで、こんな時の子どもの気持ちってこうだったんだということに体験したからこそ改めて気が付けました。今後の子どもへの声かけや気持ちの寄り添い方がより確かなものになると思います。



“先生たちは遊びの天才です”「子どもたちが満足するようにどんな保育をしていこうか」というワクワクした気持ちで保育の質を高めていきたいと思っています。

今月の予定

プール開き
身体計測（幼児クラス）
身体計測（乳児クラス）

七夕会（3，4，5歳クラス）
笹燃やし（3，4，5歳クラス）
避難訓練



～菅刈通信～

今月は、食育係よりクラスでの食育の様子をお伝えします！

食育の一環として食材に触れる機会を大切にしています。6月は旬のそら豆のさや剥きをしました。「硬いねー」と最初はなかなか剥けません。剥けると一転して「ふわふわ」とさやの内側を触って感触を楽しんでいます。おやつに出ると普段より興味を示して手を伸ばしています。



なかなか剥けないな～

ふわふわ～





すみれ組
1歳児クラス

砂や泥に触れて遊ぶことを楽しんでいる子どもたち。庭に出るとすぐに砂場へ行きます。保育士がバケツに砂と水を入れて持ってくる、子どもたちがシャベルで混ぜてくれます。泥が出来る、とスプーンで掬ってはこぼし、トロトロと落ちる様子を不思議そうに見ています。保育士が、テーブルの泥を指先でツンツンと触ってみると、同じように指先で突き始めました。今度は保育士が掌で伸ばすと、一緒に触り始めました。「パタパタしているね」「気持ちいいね」と言われ、次第に手を大きく動かしたり、叩いたりしながら遊び始めます。保育士が「ぺったんこ」と言いながら一緒に触っていると「ぺったん」と真似をして叩き、感触を楽しんでいました。ふとした時に、掌をじっと見つめて黒くなっていることに気が付きます。「一緒だね」と言われると笑いながら叩いて遊んでいます。

これからも、子どもの発見や気づきに共感し、興味を広げていきたいと思ひます。



りす組
3歳児クラス



鬼に捕まらないようにホールの端から端まで走り抜ける“生き残りばんざい”という遊びが大好きです。保育士が「生き残り」と言うと、子どもたちは「ばんざい」と元気に声をあげ走り出し、真ん中にある鬼の動きを目で追いながら、捕まらないように夢中になって逃げています。逃げ切ることが出来ると「よっしゃー」「やったー」と大喜びです。最後の一人に残った友達に「頑張れー」と応援する姿が見られたり、逃げ切った友達に対し「やったー」「勝ったね」と声をかけたり、自分のことのように喜んでいひます。鬼から逃げることだけでなく、友達と一緒に思いきり声をあげて体を動かし、友達と同じ気持ちになって楽しんでいひます。

これからも新しい遊びを取り入れながら友達と共通の経験をしていく中で、友達と一緒に遊ぶ楽しさをたくさん感じていけるようにしたいと思ひます。



きりん組
5歳児クラス



雨が續くと「戸外に出られなくて残念」かと思ひきや、「今日はホールだね」と嬉しそうな声が聞こえます。それは大好きなドッチボールが出来るからです。「よろしくお願ひします」と元気な挨拶から始まり「パス、パス」「行けー」と威勢の良い声がホールに響いていひます。真剣に取り組んでいる分、勝ち負けにもこだわってきました。勝つためにはどうしたらよいか、みんなで作戦会議です。「大きい声で喋ると相手チームにばれちゃうよ」と小声で頭を突き合わせて話し合う姿は可愛らしいですが、子どもたちの表情は真剣そのもの。「ボールを持ったら、すぐ投げたほうがいいね」「足を狙ったほうがいいよ」「ボールが壁に当たると相手チームに入っちゃうから、仲間の外野に向けて投げよう」など、大人でもその通りだなと思ひ的確な意見を出し合っていて感心しひます。

友達との意見の違いに葛藤しながらも自分たちで考えて遊びを進めていく楽しさを経験し、仲間との絆を深めていきたいと思ひます。

